

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	0千円	0千円	3,960千円	0千円
総人件費	0千円	0千円	13,964千円	
総事業コスト	0千円	0千円	17,924千円	

部等名	課等名	係等名
科学技術振興部	科学技術・特区推進課	総合特区・企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	24	科学技術振興支援に要する経費

事務事業名	03	科学技術振興指針(第2期)策定事業	指標名	科学技術振興指針の策定					指標種別	成果指標	指標の概要	科学技術振興指針の策定	
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度					H31年度
戦略プラン	11	1	科学技術の振興	-	-	-	-	-	-	-	-		
総合戦略	1	1	科学技術の振興によるまちづくり	-	-	-							
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度					
根拠法令等	-	-	-	-				-					
事業分類	A 任意的事業		改善目標	-				科学技術振興指針策定懇話会の会議及びパブリックコメント手続に係るスケジュール管理を徹底する。					
執行体制	職員のみ		事業計画	-				国の第5期科学技術基本計画において、筑波研究学園都市等に対し、イノベーションを生み出す環境の形成について、変革に向けた自律的な取組を求める旨が明記されたこと等を踏まえ、外部有識者の意見を聴きつつ、科学技術イノベーション都市への転換を見据えた10年後の「つくば」をデザインする。					
事業の目的	「つくば市科学技術振興指針」(平成24年度～平成28年度)の計画期間満了に伴って、「つくば市科学技術振興指針(第2期)」を策定する。		活動実績	-				上半期活動実績					
事業の概要	国の第5期科学技術基本計画において、筑波研究学園都市等に対し、イノベーションを生み出す環境の形成について、変革に向けた自律的な取組を求める旨が明記されたこと等を踏まえ、外部有識者の意見を聴きつつ、科学技術イノベーション都市への転換を見据えた10年後の「つくば」をデザインする。		成果	-				上半期成果					
			課題	-				課題					
			事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	-	効率性	-	総合評価	-	H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	0千円	0千円	3,960千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	0千円	0千円	3,960千円	0千円
人件費(B)	0千円	0千円	13,964千円	
正職員	従事割合	0.00人	0.00人	1.70人
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	500.00時間	
臨時職員等	-	-	有	
事業コスト(A+B)	0千円	0千円	17,924千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
科学技術振興部	科学技術・特区推進課	総合特区企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	24	科学技術振興支援に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	10,100千円	11,214千円	14,133千円	0千円
総人件費	9,139千円	19,091千円	10,250千円	
総事業コスト	19,239千円	30,305千円	24,383千円	

事務事業名	01 国際戦略総合特区推進事業			指標名	新たなプロジェクトの創出数				指標種別	成果指標	指標の概要		
	11	1	科学技術の振興	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	11	1	科学技術の振興	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	つくば国際戦略総合特区国際競争力強化方針に合致し、かつ、新たな規制の特例措置等の活用が有効であると見込まれる新たなプロジェクトの創出数		
総合戦略	1	1	科学技術の振興によるまちづくり	1件	1件	-							
個別計画	総合特別区域計画			H27年度				H28年度					
根拠法令等	総合特別区域法			改善目標	(一社)つくばグローバルイノベーション推進機構の会員数を増加する。				改善目標	(一社)つくばグローバルイノベーション推進機構の会員数を増加する。			
	事業計画	総合特別区域法			事業計画	(一社)つくばグローバルイノベーション推進機構を中核とした組織の垣根を超えた新しい産学官連携の仕組みのもとで、ライフイノベーション又はグリーンイノベーションの分野において、特区プロジェクト等を推進するとともに、新たなプロジェクトを創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。				事業計画	(一社)つくばグローバルイノベーション推進機構(以下「TGI」という。)を中核とした組織の垣根を超えた新しい産学官連携の仕組みのもとで、ライフイノベーション又はグリーンイノベーションの分野において、特区プロジェクト等を推進するとともに、新たなプロジェクトを創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。さらに、TGI会員で構成されるワンストップ技術相談窓口を開設し、連携しながら技術相談に対応する。		
事業分類	A 任意的事業			活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月に、総合特区の新規プロジェクトとして、「戦略的都市鉱山リサイクルシステムの実用化」を追加。 平成27年9月、「つくばイノベーションプラザ条例」公布。TGI、TIA、国際交流協会の入居が内定。 平成28年1月、「つくば市生活支援ロボット普及促進事業」を開始。 平成28年3月、「つくば市認定国際戦略総合特別区域計画の推進に関する条例」の失効期限を2年間延長。 平成27年度中、会員数が7機関・社増加し、計20機関・社になった。 				上半期活動実績	-			
執行体制	職員のみ			成果	<ul style="list-style-type: none"> 特区新規プロジェクトを創出。 つくばイノベーションプラザを拠点とした産学官金の連携体制を整備。 HAL(腰タイプ)のトライアルコース4機実施。 特区プロジェクトに対する地域独自の財政優遇措置を整備。 				上半期成果	-			
事業の目的	つくばを変える新しい産学官連携システムを構築するとともに特区プロジェクトに取り組み、成果を上げ、ライフイノベーション・グリーンイノベーション分野で我が国の成長・発展に貢献する。「特区プロジェクト」の推進により、生じた課題・問題点を「つくばを変える新しい産学官連携システム」の構築にフィードバックし、つくばの科学技術の集積から新事業・新産業が生まれ出されていく、新しいシステムを確立するため。			課題	<ul style="list-style-type: none"> 特区新規プロジェクトに係るシーズの探索 産学官金のネットワークの拡大 生活支援ロボット普及促進事業に係る対象ロボットの拡大 特区プロジェクトに対する地域独自の財政優遇措置の活用促進。 				課題	-			
事業の概要	組織の垣根を超えた新しい産学官連携の仕組みのもとで、システムの核となる組織((一社)つくばグローバルイノベーション推進機構)を設立し、研究インフラの共用化等の基盤となるサービスの提供を行う。これにより、特区プロジェクト等を推進するとともに、新たなプロジェクトを創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001 関連性	-	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-			
	-	-	-		効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-			
	-	-	-		総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-			
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		10,100千円	11,214千円	14,133千円	0千円		
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円		
一般財源		10,100千円	11,214千円	14,133千円	0千円	人件費(B)		9,139千円	19,091千円	10,250千円			
正職員		1.15人	2.25人	1.20人		時間外勤務		150.00時間	890.00時間	500.00時間			
臨時職員等		有	有	有		事業コスト(A+B)		19,239千円	30,305千円	24,383千円			
H29年度当初積算根拠		-				H29年度の方向性		-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
科学技術振興部	科学技術・特区推進課	総合特区企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	17	ロボットの街つくば推進に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	16,634千円	15,500千円	20,882千円	0千円
総人件費	15,757千円	19,011千円	9,774千円	
総事業コスト	32,391千円	34,511千円	30,656千円	

事務事業名	01 ロボットの街つくば推進事業			指標名	実験回数(H26まで), 実験走行距離(H26まで) ロボットのまち中実証実験数(種類)(H27より)				指標種別	成果指標	指標の概要		
	戦略プラン	11	2	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
					150回, 5,000km	5件	5件	5件	5件	5件	5件		
総合戦略	1 1 科学技術の振興によるまちづくり			実績	153回, 3,635km	9件	-						
個別計画	-			H27年度				H28年度					
	改善目標	-			全国展開への貢献, 規制緩和要望の推進, 先進的で多様な実証実験の取組を行っていく。				改善目標 先進的で多様な実証実験の取組を推進するとともに, 市内での更なる活用を実現するため, 市単独では難しい規制緩和を実現するための自治体等による協働ネットワークを構築していく。				
事業計画	-			事業計画				事業計画					
	-			・モビリティロボットシェアリング実験について, 研究学園駅とつくば市役所に設置した充電ステーションを含めた実験を開始する。 ・実証実験を行いたい自治体等に対し, ノウハウの提供を行う。 ・実証実験に関する情報の発信・成果の場として, ロボットフェスティバルやロボットフォーラム等を開催する。 ・近未来技術実証プロジェクトの推進。 ・つくばチャレンジ2015の開催。				・モビリティロボットを活用した取組, エリア等を拡大した実証実験を行う。 ・自治体等へのモビリティロボットスタートアップ応援事業による, 多数の地域から規制緩和を求める協働ネットワークの構築 ・ロボット革命イニシアティブ協議会WG参加 ・ロボットイノベーションコンソーシアム参加 ・つくばチャレンジ2016の開催 ・科学技術振興指針の改訂作業の中で, 今後のロボットの街つくばのあり方について検討する。					
事業分類	A 任意的事業			活動実績	・モビリティロボットスタートアップ応援事業 件数13件 ・モビリティロボットシェアリング実験拡張(研究学園駅, つくば市役所) ・ロボット革命イニシアティブ協議会WG参加 ・ロボットイノベーションコンソーシアム参加 ・近未来実証プロジェクトの推進 ・つくばロボットフォーラム ・つくばロボットフェスタ ・モビリティロボット鉄道乗車実験 ・つくばチャレンジ2015実験 8回				上半期活動実績	-			
執行体制	職員のみ			成果	・モビリティロボット実験特区が全国展開(7月) ・モビリティロボットスタートアップ応援事業を開始し, ロボットの街つくば推進事業の成果のPRにつながった。 ・ロボット革命イニシアティブ協議会等の様々な協議会等に参加し, ロボットの街つくばのプレゼンスが高まった。				上半期成果	-			
事業の目的	ロボットの活用促進や人材育成を図り, もって, 超高齢社会への対応, 低炭素社会の実現, 観光等の地域活性化を図るとともにシティプロモーションに貢献するため。			課題	つくばモビリティロボット実験特区が全国展開され全国で搭乗型移動支援ロボットが走行することが可能になった。しかし, 搭乗型移動支援ロボットをはじめ, ロボットの活用促進に向けては, 更なる規制緩和の要請や先進的で多様な実証実験の推進・支援を進めていくことが必要。				課題	-			
事業の概要	つくばモビリティロボット実験特区やつくば国際戦略総合特区の枠組みを活用するなどし, ロボットの活用促進に貢献し, 国に規制緩和を要望していく。また, 搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ等のロボット実験を推進する。			事業の進捗状況	達成	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	
ISO 14001 環境関連性	-			評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-		
	-				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-		
	-				総合評価	A: 成果を維持して継続実施				総合評価	-		
その他の指標				規制緩和申請件数				事業実施コスト					
								H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初					
								事業費(A) 16,634千円 15,500千円 20,882千円 0千円					
								国庫支出金 0千円 0千円 0千円 0千円					
								県支出金 0千円 0千円 0千円 0千円					
								地方債 0千円 0千円 0千円 0千円					
								その他特財 0千円 0千円 0千円 0千円					
								一般財源 16,634千円 15,500千円 20,882千円 0千円					
								人件費(B) 15,757千円 19,011千円 9,774千円					
								正職員 従事割合 1.95人 2.25人 1.10人					
								正職員 時間外勤務 350.00時間 860.00時間 600.00時間					
								臨時職員等 有 有 有					
								事業コスト(A+B) 32,391千円 34,511千円 30,656千円					
								H29年度当初積算根拠					
								H29年度当初積算根拠					
								理由					